

大名美恵子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2
 電話・FAX 029-284-0761
 E-mail toukai@oona-mieko.info

はじめて体験、10連休

日本人の働き方や働き方をサポートする環境があまりに不安定ななかでの、いきなりの10連休に、さまざまな声が聞かれました。いかがお過ごしだったでしょうか。連休の中で、次のような内容での訴えを街頭から行いました。

- ◆テレビや新聞は、連日、洪水のように天皇の代替わりを祝福する報道を繰り返しています。ニュース番組からニュースが無くなり、まるで社会の雰囲気まで一変させるかのようでした。
- ◇しかし、時代や政治は天皇の代替わりによって変わるわけではないと思います。主権者である国民の「政治を変えたい」という思いと、実現に向けた取り組みでこそ変えられるものではないでしょうか。
- ◆ところが、安倍晋三首相は、新元号発表の時、前例を破って自ら記者会見し、「令和」の意味を解説しただけでなく、「一億総活躍社会をつくり上げることができれば、日本の未来は明るい」と述べ、天皇の代替わり・改元に便乗して自らの政策を自画自賛するという政治利用ぶりです。
- ◇元号が「令和」になると、安倍自公政権の悪政が帳消しになるわけではありません。消費税8%への増税がきっかけになった消費不況は未だに続き、家計消費も実質賃金もマイナスのままです。そこへ10%への増税が襲い掛かれれば、国民生活と日本経済は破壊されてしまいます。
- ◆また沖縄の新基地建設は、改元をまたいでも工事が中止されるどころか、工事区域を拡大さえしています。森友・加計問題にはじまった国政私物化は、「安倍・麻生道路」へと拡大しています。何より、安保法制、つまり戦争法の強行をはじめとした立憲主義破壊の政治は続いています。そしてアメリカトランプ大統領にへつらい米国製兵器の爆買いまで進めています。
- ◇日本共産党は、7月の参議院選挙で安倍自公政権の悪政を終わらせるために全力をつくす決意です。



「NHKから国民を守る党」って何？(2回に分けてご報告します)

「NHKをぶっ壊す」をキャッチフレーズに、統一地方選で多くの当選者を出した政治団体「NHKから国民を守る党」が、7月の参院選に挑戦する意向を明らかにしました。

同団体は、NHK元職員の立花孝志・東京都葛飾区議が、2013年に立ち上げ、「NHK撃退シール」を配布するなど活動。今回の選挙でも、「受信料制度が不公平だ▽不祥事を繰り返すNHKが許せない▽NHKの番組なんて見ていない」などの理由で、「NHKが嫌いな方を応援・お守りする候補者です」と訴えました。

「ぶっ壊す」では

たしかに、NHKに対する視聴者の不満や批判は強いものがあります。こうした市民感情をうまくくい取ったといえますが、だからといって、「守る党」に投票したらNHKはよくなるのか。国民が権利を行使する上で必要な基本情報を誰でも入手できる場所に公共放送としての役割があり、それをNHKにきちんと果たさせるよう、批判、監視、激励することが求められています。「ぶっ壊す」では、何も変わりません。後半戦開票後の4月23日のインターネット番組に出演した立花氏に対し、他の出演者から「NHKでないといけないことがある」という指摘や、「地方議会で何をやっているの?」という疑問が出たのも当然です。立花氏は、ことし3月の葛飾区議会で、日本共産党区議団が提出した▽15歳までの医療費無料化を18歳まで拡大する▽国民健康保険料の子どもの均等割保険料を免除する—など区民の暮らしを守る四つの条例案を、自民、公明両党などととも拒否しました。

しかも、同番組で、立花氏が「来るものは拒まず」とのべたように、今回当選した議員の政治信条はさまざまです。